

耐震試験でも破損なし

公共・商業施設を想定

ケーワンシステム

北海道を中心に二重床を供給・施工し、万協フロアの特約店でもあるケーワンシステム(札幌市、原田慶一社長)は、高性能デッキシステムを供給しており、文教・商業施設など様々な施設で採用が増えている。

主力商品は「K-1

月、北海道立総合研究

機構建築研究本部で、

性能が求められるよう

な適度な硬さと軟らか

さを取り入れたシス

ムだ。耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験を行い、安全性を証明。国産材も活用でき

るため、文教施設で採

用が増えている。車両

乗り入れを可能にした

表する。

K-1デッキを行つた。試験では、予定された地震波形(各種耐震試験規格)のすべて

で試験値をクリアし

て取りまとめ、今後発表する。

K-1デッキはビル

の屋上や大型商業施設

など様々な外構工事で

間隔を450ミリとした

体で、500時間、21

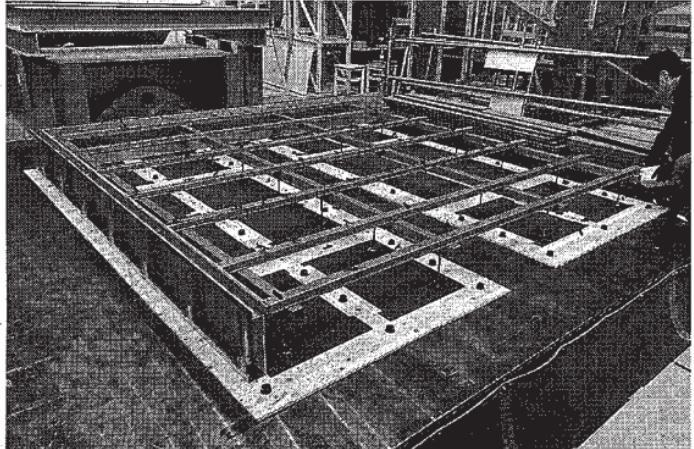
話す。

K-1デッキは、

ガルの正弦波で1回ずつ

が加振した。

北海道立総合研究機構での耐震試験



られただけで、施工現場状況に近付けた試験台でも、性能への影響分の破損を小さいことが証明された。原田社長は「当社のこころ、破損は見られなかつた。また同社では、雨天での長期利用を想定し、天然木デッキ、人条件を想定し、性能をK-1デッキは、従来の住宅や文教施設だけではなく、耐久性が求められる商業施設やビルの屋上など様々な場面での利用が増えていく。今後も様々な利用を想定する。今後も様々な利用を広げていきたい」と語る。今後は、積雪や落雪に関する性能試験も実施していく予定だ。

木デッキの設置試験で、人工木デッキの設置試験が行われている。人工木仕様では目視確認の結果、白さび及びわずか

の屋上や大型商業施設など様々な外構工事で間隔を450ミリとした日間の塩水噴霧試験を行っている。人工木仕

材十

ら、同試験に取り組ん